

担い手確保・経営強化支援事業目標達成状況報告書(3年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	農業地域類型	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
北海道	美瑛町	置杵牛	中間農業地域	令和元年度	令和3年度	美瑛町

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			3年度目 達成状況 (%)
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	
目 標 須 付加価値額の拡大	0 0	1 1	1 0	0
選 択 目 標	① 経営面積の拡大	0 0	1 1	100
	② 農産物の価値向上			
	③ 農業経営の複合化			
	④ 農業経営の法人化			
	⑤ 輸出の取組	0 0	0 0	1 0

II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			3年度目 達成状況 (%)	実績を確 認した資料 名等	
				1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)			
1		付加価値額の拡大(円)	9,587,960	9,587,960 17,426,676	12,784,586 17,343,039	12,784,586 11,441,247	58.0%	決算報告書	
		算 定 内 訳	収入総額	36,527,929	36,527,929 38,229,195	48,706,341 39,360,536	48,706,341 40,502,200		
			費用総額	27,219,969	27,219,969 25,308,519	36,295,107 29,417,497	36,295,107 37,046,515		
			人件費	280,000	280,000 6,506,000	373,352 7,400,000	373,352 7,985,562		
		就業者一人当たり 付加価値額の拡大	4,168,678	4,168,678 7,576,815	5,558,000 7,226,266	5,558,000 4,903,391	52.9%		
		就業者数	2.3	2.3 2.3	2.3 2.4	2.3 2.3			
		経営面積の拡大(ha)	37.10	37.10 42.41	41.10 42.41	41.10 42.41	132.8%		農地台帳
		輸出の取組	なし	なし なし	なし なし	そば(100kg) なし	-		出荷伝票
補正の内容									

III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

<p>「付加価値額の拡大(0%)」「輸出の取組(0%)」の2項目において目標を達成することができなかった。</p> <p>「付加価値額の拡大」については、新型コロナウイルス感染拡大の影響で主に業務用のソバの買取価格の減少等により売上が伸びなかったことや肥料や農薬、燃料費等の費用が増大したため、目標達成することができなかった。今後は、販路の拡大等による買取価格の向上に向けた取組を行うとともに、適正な施肥量や農薬量を用いることでコスト削減を図るよう、普及センターの普及指導員等より指導し、目標達成することとする。</p> <p>「輸出の取組」については、新型コロナウイルス感染拡大の影響で物流の停滞や輸送費の高騰により、国内商社等との商談が上手く進まず、輸出に取り組むことができなかった。今後は町や農協等と連携した輸出に関わる情報提供や商社とのマッチングをサポートすることで、目標を達成することとする。</p>

1 人・農地プランの作成状況

(1)作成した日 ____年 ____月 ____日

(2)今後の見通し(未作成の場合)

--

2 法人化の状況

(1)法人化前の組織等の名称: _____

(2)法人化した日 ____年 ____月 ____日

(3)今後の見通し(法人化していない場合)

--

〔記入要領〕

1 「現状」「目標」欄は、担い手支援計画及び経営体調書の成果目標の「現状」「目標年度」欄の内容を記入する。

I 及び II の「達成状況」欄の上段は、担い手支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、

「○年度目の達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。

2 II の対象経営体の成果目標に関する達成状況は、担い手支援計画の添付資料である経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。また、付加価値額の拡大(算定内訳を含む。)及び就業者一人当たり付加価値額の拡大について、実績を補正したものについては、実績値の前に(補)と記載する。「項目」欄の「補正の内容」欄には、実績を補正したものについて、補正の要因及び補正の方法(実績値の補正過程)を記載する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。

II の経営体の成果目標達成状況の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)

3 III の「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。

また、目標年度において目標が達成されていない場合(必須目標が達成されていない場合又は選択目標がおおむね達成されていない場合)は、別途、別紙様式5号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。

4 IV の1については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区である場合(実施要綱別記第1の2の(4)に該当する地区である場合)に記載し、2については、助成対象者が集落営農組織である場合(別記4の(1)のイの(ア)のcに該当する場合)に記載する。

担い手確保・経営強化支援事業目標達成状況報告書(3年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	農業地域類型	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
北海道	美瑛町	北瑛	中間農業地域	令和元年度	令和3年度	美瑛町

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			3年度目 達成状況 (%)
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	
目標 付加価値額の拡大	0 0	1 0	1 1	100
選択 目標	① 経営面積の拡大	0 0	1 0	0
	② 農産物の価値向上			
	③ 農業経営の複合化			
	④ 農業経営の法人化			
	⑤ 輸出の取組			

II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			3年度目 達成状況 (%)	実績を確 認した資料 名等	
				1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)			
1		付加価値額の拡大(円)	48,084,070	48,084,070 48,084,070	57,700,884 37,939,357	57,700,884 91,115,382	447.5%	決算報告書	
		算定 内訳	収入総額	342,438,723	342,438,723 279,591,053	410,926,468 270,819,100	410,926,468 300,383,088		
			費用総額	342,438,723	342,438,723 279,591,053	410,926,468 280,222,003	410,926,468 263,449,026		
			人件費	48,084,070	48,084,070 48,084,070	57,700,884 47,342,260	57,700,884 54,181,320		
		就業者一人当たり 付加価値額の拡大	就業者数						
			経営面積の拡大(ha)	240.70	240.70 236.41	244.70 236.41	244.70 236.51	-104.8%	農地台帳
		補正の内容							

III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

「経営面積の拡大(0%)」の目標を達成することができなかった。
 当初の計画より土地の購入または賃貸を予定していたが、農地の出し手が見つからず土地の集積を行うことができなかったことが原因となり、目標が達成できなかった。今後については、目標の経営面積の拡大を図れるよう指導するとともに、関係機関で連携して集積を促進し、目標を達成することとする。

1 人・農地プランの作成状況

(1)作成した日 年 月 日

(2)今後の見通し(未作成の場合)

--

2 法人化の状況

(1)法人化前の組織等の名称: _____

(2)法人化した日 年 月 日

(3)今後の見通し(法人化していない場合)

--

〔記入要領〕

1 「現状」「目標」欄は、担い手支援計画及び経営体調書の成果目標の「現状」「目標年度」欄の内容を記入する。

I 及びIIの「達成状況」欄の上段は、担い手支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「○年度目の達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。

2 IIの対象経営体の成果目標に関する達成状況は、担い手支援計画の添付資料である経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。また、付加価値額の拡大(算定内訳を含む。)及び就業者一人当たり付加価値額の拡大について、実績を補正したものについては、実績値の前に(補)と記載する。「項目」欄の「補正の内容」欄には、実績を補正したものについて、補正の要因及び補正の方法(実績値の補正過程)を記載する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。

IIの経営体の成果目標達成状況の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)

3 IIIの「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。

また、目標年度において目標が達成されていない場合(必須目標が達成されていない場合又は選択目標がおおむね達成されていない場合)は、別途、別紙様式5号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。

4 IVの1については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区である場合(実施要綱別記第1の2の(4)に該当する地区である場合)に記載し、2については、助成対象者が集落営農組織である場合(別記4の(1)のイの(ア)のcに該当する場合)に記載する。

担い手確保・経営強化支援事業目標達成状況報告書(3年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	農業地域類型	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
北海道	美瑛町	大村	中間農業地域	令和元年度	令和3年度	美瑛町

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			3年度目 達成状況 (%)	
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)		
目 必 標 須	付加価値額の拡大	0 0	1 1	1 1	100
選 択 目 標	① 経営面積の拡大	0 0	1 1	1 1	100
	② 農産物の価値向上				
	③ 農業経営の複合化				
	④ 農業経営の法人化	0 0	0 0	1 0	-
	⑤ 輸出の取組				

II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			3年度目 達成状況 (%)	実績を確 認した資料 名等	
				1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)			
1		付加価値額の拡大(円)	20,757,652	20,757,652 41,465,134	29,060,713 42,442,053	29,060,713 36,265,884	186.8%	決算報告書	
		算 定 内 訳	収入総額	56,593,330	56,593,330 71,574,091	79,230,663 76,879,016	79,230,663 80,728,901		
			費用総額	45,569,584	45,569,584 32,108,591	63,797,418 37,178,296	63,797,418 45,275,600		
			人件費	9,733,906	9,733,906 1,999,634	13,627,468 2,741,333	13,627,468 812,583		
		就業者一人当たり 付加価値額の拡大							
		就業者数							
		経営面積の拡大(ha)		12.30	12.30 25.89	16.30 25.89	16.30 25.90	340.0%	農地台帳
		農業経営の法人化		個人	個人 個人	個人 個人	法人 個人	-	登記簿
補正の内容									

III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

「農業経営の法人化(0%)」の目標を達成することができなかった。

法人化に向けての協議は進んでいるが、それに伴う書類等の整備が追いついていないことから、目標が未達成となった。今後、JA・税理士等の関係機関と準備を進めていくよう指導し、目標を達成することとする。

1 人・農地プランの作成状況

(1)作成した日 年 月 日

(2)今後の見通し(未作成の場合)

--

2 法人化の状況

(1)法人化前の組織等の名称: _____

(2)法人化した日 年 月 日

(3)今後の見通し(法人化していない場合)

--

〔記入要領〕

1 「現状」「目標」欄は、担い手支援計画及び経営体調書の成果目標の「現状」「目標年度」欄の内容を記入する。

I 及びIIの「達成状況」欄の上段は、担い手支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「○年度目の達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。

2 IIの対象経営体の成果目標に関する達成状況は、担い手支援計画の添付資料である経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。また、付加価値額の拡大(算定内訳を含む。)及び就業者一人当たり付加価値額の拡大について、実績を補正したものについては、実績値の前に(補)と記載する。「項目」欄の「補正の内容」欄には、実績を補正したものについて、補正の要因及び補正の方法(実績値の補正過程)を記載する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。

IIの経営体の成果目標達成状況の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)

3 IIIの「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。

また、目標年度において目標が達成されていない場合(必須目標が達成されていない場合又は選択目標がおおむね達成されていない場合)は、別途、別紙様式5号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。

4 IVの1については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区である場合(実施要綱別記第1の2の(4)に該当する地区である場合)に記載し、2については、助成対象者が集落営農組織である場合(別記4の(1)のイの(ア)のcに該当する場合)に記載する。

担い手確保・経営強化支援事業目標達成状況報告書(3年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	農業地域類型	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
北海道	美瑛町	五稜	中間農業地域	令和元年度	令和3年度	美瑛町

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			3年度目 達成状況 (%)	
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)		
目標 必須	付加価値額の拡大	0	1	1	0
		0	1	0	
選択 目標	① 経営面積の拡大	0	1	1	100
		0	1	1	
	② 農産物の価値向上				
	③ 農業経営の複合化				
	④ 農業経営の法人化				
⑤ 輸出の取組					

II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			3年度目 達成状況 (%)	実績を確 認した資料 名等	
				1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)			
1		付加価値額の拡大(円)	2,330,532	2,330,532 2,795,209	2,800,135 3,615,174	2,800,135 1,873,730	-97.3%	決算報告書	
		算定 内訳	収入総額	7,899,183	7,899,183 8,292,173	9,490,869 12,668,944	9,490,869 15,775,060		
			費用総額	5,568,651	5,568,651 5,496,964	6,690,734 9,053,770	6,690,734 13,901,330		
			人件費						
		就業者一人当たり 付加価値額の拡大							
			就業者数						
		経営面積の拡大(ha)	17.70	17.70 24.24	21.70 30.34	21.70 30.36	316.5%	農地台帳	
				補正の内容					

III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

<p>「付加価値額の拡大(0%)」の目標を達成することができなかった。</p> <p>経営面積を拡大したことで収入は大きく増加したが、経営規模の拡大に伴い、新たな農業用機械の導入等の初期投資により、一時的に費用が大きく増加し、目標を達成することができなかった。今後は、効率的な営農や適切な施肥量、農薬量について普及センターや農協の営農指導員により指導することで、拡大した経営面積を有効活用し安定的な収入が得るとともに、コスト低減を図ることで、目標達成することとする。</p>

1 人・農地プランの作成状況

(1)作成した日 年 月 日

(2)今後の見通し(未作成の場合)

--

(1)法人化前の組織等の名称:

(2)法人化した日 年 月 日

(3)今後の見通し(法人化していない場合)

--

〔記入要領〕

1 「現状」「目標」欄は、担い手支援計画及び経営体調書の成果目標の「現状」「目標年度」欄の内容を記入する。

I 及び II の「達成状況」欄の上段は、担い手支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「○年度目の達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。

2 II の対象経営体の成果目標に関する達成状況は、担い手支援計画の添付資料である経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。また、付加価値額の拡大(算定内訳を含む。)及び就業者一人当たり付加価値額の拡大について、実績を補正したのものについては、実績値の前に(補)と記載する。「項目」欄の「補正の内容」欄には、実績を補正したものについて、補正の要因及び補正の方法(実績値の補正過程)を記載する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。

II の経営体の成果目標達成状況の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)

3 III の「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。

また、目標年度において目標が達成されていない場合(必須目標が達成されていない場合又は選択目標がおおむね達成されていない場合)は、別途、別紙様式5号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。

4 IV の1については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区である場合(実施要綱別記第1の2の(4)に該当する地区である場合)に記載し、2については、助成対象者が集落営農組織である場合(別記4の(1)のイの(ア)のcに該当する場合)に記載する。

担い手確保・経営強化支援事業目標達成状況報告書(3年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	農業地域類型	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
北海道	美瑛町	福富三愛	中間農業地域	令和元年度	令和3年度	美瑛町

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			3年度目 達成状況 (%)	
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)		
目 必 標 須	付加価値額の拡大	0	2	2	50
		0	1	1	
選 択 目 標	① 経営面積の拡大	0	2	2	50
		0	0	1	
	② 農産物の価値向上				
	③ 農業経営の複合化				
	④ 農業経営の法人化				
	⑤ 輸出の取組				

II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			3年度目 達成状況 (%)	実績を確 認した資料 名等	
				1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)			
1		付加価値額の拡大(円)	18,036,337	18,036,337 26,614,205	25,250,872 34,023,737	25,250,872 25,218,143	99.9%	決算報告書	
		算 定 内 訳	収入総額	62,048,195	62,048,195 70,614,440	86,867,473 82,447,322	86,867,473 72,084,222		
			費用総額	45,122,308	45,122,308 45,692,925	63,171,231 49,077,947	63,171,231 47,781,739		
			人件費	1,110,450	1,110,450 1,692,690	1,554,630 654,362	1,554,630 915,660		
		就業者一人当たり 付加価値額の拡大							
			就業者数						
		経営面積の拡大(ha)	66.50	66.50 66.59	70.50 66.59	70.50 73.79	182.3%	農地台帳	
		補正の内容							
2		付加価値額の拡大	162,281,980	162,281,980 142,361,668	183,378,638 135,324,954	183,378,638 204,368,375	111.4%	決算報告書	
		算 定 内 訳	収入総額	942,422,691	942,422,691 938,765,642	1,064,937,642 995,983,435	1,064,937,642 1,080,787,230		
			費用総額	884,970,983	884,970,983 898,984,900	1,000,017,211 991,127,007	1,000,017,211 1,039,588,535		
			人件費	104,830,272	104,830,272 102,580,926	118,458,207 130,468,526	118,458,207 163,169,680		
		就業者一人当たり 付加価値額の拡大							
			就業者数						
		経営面積の拡大(頭)	2,829	2,829 2,741	2,869 2,439	2,869 2,538	88.5%	定期報告書	
		補正の内容							

Ⅲ 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

「付加価値額の拡大(50%)」「経営面積の拡大(50%)」が目標達成することができなかった。

「付加価値額の拡大」については、農薬散布の見直しや委託していた作業を自営に切り替えることで経費の削減を図るとともに、普及センターの普及指導員より作業の効率化や品質向上及び買取価格の向上に向けた指導を行うことで収入の増加を図り、目標達成に向けた取組を行う。

「経営面積の拡大」については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実需側の販売が思うように進まず、需要が減少したため、供給を抑えたことにより頭数を増加させることができなかった。今後は、実需側のプロモーションや販路開拓をJAや町との連携のもと促進し供給を拡大することで目標達成を目指す。

- 1 人・農地プランの作成状況
- (1)作成した日 ____年 ____月 ____日
- (2)今後の見通し(未作成の場合)

- 2 法人化の状況
- (1)法人化前の組織等の名称: _____
- (2)法人化した日 ____年 ____月 ____日
- (3)今後の見通し(法人化していない場合)

[記入要領]

- 1 「現状」「目標」欄は、担い手支援計画及び経営体調書の成果目標の「現状」「目標年度」欄の内容を記入する。
- I及びIIの「達成状況」欄の上段は、担い手支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「○年度目の達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。
- 2 IIの対象経営体の成果目標に関する達成状況は、担い手支援計画の添付資料である経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。また、付加価値額の拡大(算定内訳を含む。)及び就業者一人当たり付加価値額の拡大について、実績を補正したもののについては、実績値の前に(補)と記載する。「項目」欄の「補正の内容」欄には、実績を補正したもののについて、補正の要因及び補正の方法(実績値の補正過程)を記載する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。
- IIの経営体の成果目標達成状況の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)
- 3 IIIの「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。
- また、目標年度において目標が達成されていない場合(必須目標が達成されていない場合又は選択目標がおおむね達成されていない場合)は、別途、別紙様式5号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。
- 4 IVの1については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区である場合(実施要綱別記第1の2の(4)に該当する地区である場合)に記載し、2については、助成対象者が集落営農組織である場合(別記4の(1)のイの(ア)のcに該当する場合)に記載する。

担い手確保・経営強化支援事業目標達成状況報告書(3年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	農業地域類型	計画承認年度	目標年度	事業実施主体
北海道	美瑛町	旭	中間農業地域	令和元年度	令和3年度	美瑛町

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			3年度目 達成状況 (%)	
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)		
目標 必須	付加価値額の拡大	0 0	1 1	1 0	0
選択 目標	① 経営面積の拡大	0 0	1 0	1 1	100
	② 農産物の価値向上				
	③ 農業経営の複合化				
	④ 農業経営の法人化				
	⑤ 輸出の取組				

II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			3年度目 達成状況 (%)	実績を確 認した資料 名等	
				1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)			
1		付加価値額の拡大(円)	10,816,868	10,816,868 7,447,085	14,061,929 3,809,535	14,061,929 -667,218	-4.7%	決算報告書	
		算定 内訳	収入総額	46,653,088	46,653,088 52,517,822	60,649,015 62,977,711	60,649,015 48,943,603		
			費用総額	38,255,270	38,255,270 51,490,737	49,731,851 66,440,878	49,731,851 59,047,462		
			人件費	2,419,050	2,419,050 6,420,000	3,144,765 7,272,702	3,144,765 9,436,641		
		就業者一人当たり 付加価値額の拡大							
		就業者数							
		経営面積の拡大(ha)	25.60	25.60 25.73	29.60 25.73	29.60 32.62	175.5%	農地台帳	
		補正の内容							

III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

「付加価値額の拡大(0%)」の目標を達成することができなかった。 経営面積の拡大により収量は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響によりコメの価格が下落したことで収入が減少したため、目標を達成することができなかった。今後は、普及センターの普及指導員と農協の営農指導員により、適正な施肥量や農薬量等の指導によるコスト削減や作業の効率化、販路の開拓や品質向上及び買取価格の向上に向けた取組を行うよう指導をすることで収入の増加を図り、目標を達成することとする。
--

(1)作成した日 年 月 日

(2)今後の見通し(未作成の場合)

--

(1)法人化前の組織等の名称:

(2)法人化した日 年 月 日

(3)今後の見通し(法人化していない場合)

--

〔記入要領〕

1 「現状」「目標」欄は、担い手支援計画及び経営体調書の成果目標の「現状」「目標年度」欄の内容を記入する。

I 及び II の「達成状況」欄の上段は、担い手支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「○年度目の達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。

2 II の対象経営体の成果目標に関する達成状況は、担い手支援計画の添付資料である経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。また、付加価値額の拡大(算定内訳を含む。)及び就業者一人当たり付加価値額の拡大について、実績を補正したのものについては、実績値の前に(補)と記載する。「項目」欄の「補正の内容」欄には、実績を補正したものについて、補正の要因及び補正の方法(実績値の補正過程)を記載する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。

II の経営体の成果目標達成状況の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)

3 III の「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。

また、目標年度において目標が達成されていない場合(必須目標が達成されていない場合又は選択目標がおおむね達成されていない場合)は、別途、別紙様式5号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。

4 IV の1については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区である場合(実施要綱別記第1の2の(4)に該当する地区である場合)に記載し、2については、助成対象者が集落営農組織である場合(別記4の(1)のイの(ア)のcに該当する場合)に記載する。